

一般質問



生野 照雄

公立おがた総合病院  
全適移行を

質問

経営状況は。

答弁 総合病院事務長

開院後、1年3カ月が経過し入院収入13億3千8百万円、外来収入6億6千万円余りで経常収入の伸びは順調と考えられます。公営企業会計準則により減価償却費・繰延勘定償却など、実際に出金を伴わない項目も費用として計上されま

質問

合併協議会での確認事項により取り組まれているか。

答弁 市長

病院診療所の取り扱いについては旧町村長間で交わした協議書にしたがい2年半以内に公営企業法の一部適用から全部適用に移行を実現します。方法としては公立医療施設評価委員会と協議します。

質問

一般会計からの繰り出しを受けずに経営はできないか、また、理想的な病院経営は。

答弁 総合病院長

自治体病院は運営性格上不採算部門の診療科、また、行政サービスと切り離せない部分が多く、国から交付税措置・施設運営費補助金などが支出されています。経費負担の原則から地方財政計画に基づき一般会計からの繰り出しが明記されています。理想とする病院経営は医業収益のみで運営できることです。

※その他

「新市の財政状況」



“明るくきれいになりました”  
地域医療の拠点として 公立おがた総合病院



橋本 祐輔

自治基本条例  
住民の参加を

質問

条例作成には住民の参加が必要であり、自治体の憲法となるものである。基本的な理念と、どのような形で住民が参加し、協議し、作り上げていくのか。

答弁 市長

この条例は、まちづくりの理念や基本的な施策などについて、市民と共に共有

政策の優先順位

質問

限られた予算の配分は困難であるが、少なくとも所得の少ない方々への施策の必要性は最優先されるべきと考える。執行部の考えは。

答弁 市長

財政状況が極めて厳しいため、政策の取捨選択は、ますます困難になり、政策の優先順位を付けること自体大変難しい。これからの市政運営は、行政に関する情報を積極的に開示し、住民との情報の共有化を進めた上で、政策の順位づけをしていかなければならない。

農業政策

質問

総合的農業政策の立案、

実施については関係各機関との連携を密にし、効率的に行なわれるような方法にすべきではないか。

答弁 産業経済部長

市と農業協同組合が参画し共通認識を持ち、それぞれの役割分担を果たしながら振興に取り組んでいくことが大切であると考えます。今後、県並びに農業協同組合など関係機関と緊密な連携を図りながら、十分研究・検討を進めていきたい。

※その他

「行財政改革の具体策」  
「公立おがた総合病院の今後の展開」



むれ 牟礼 (三重町) のJA施設  
ピーマンなどの集出荷をしています